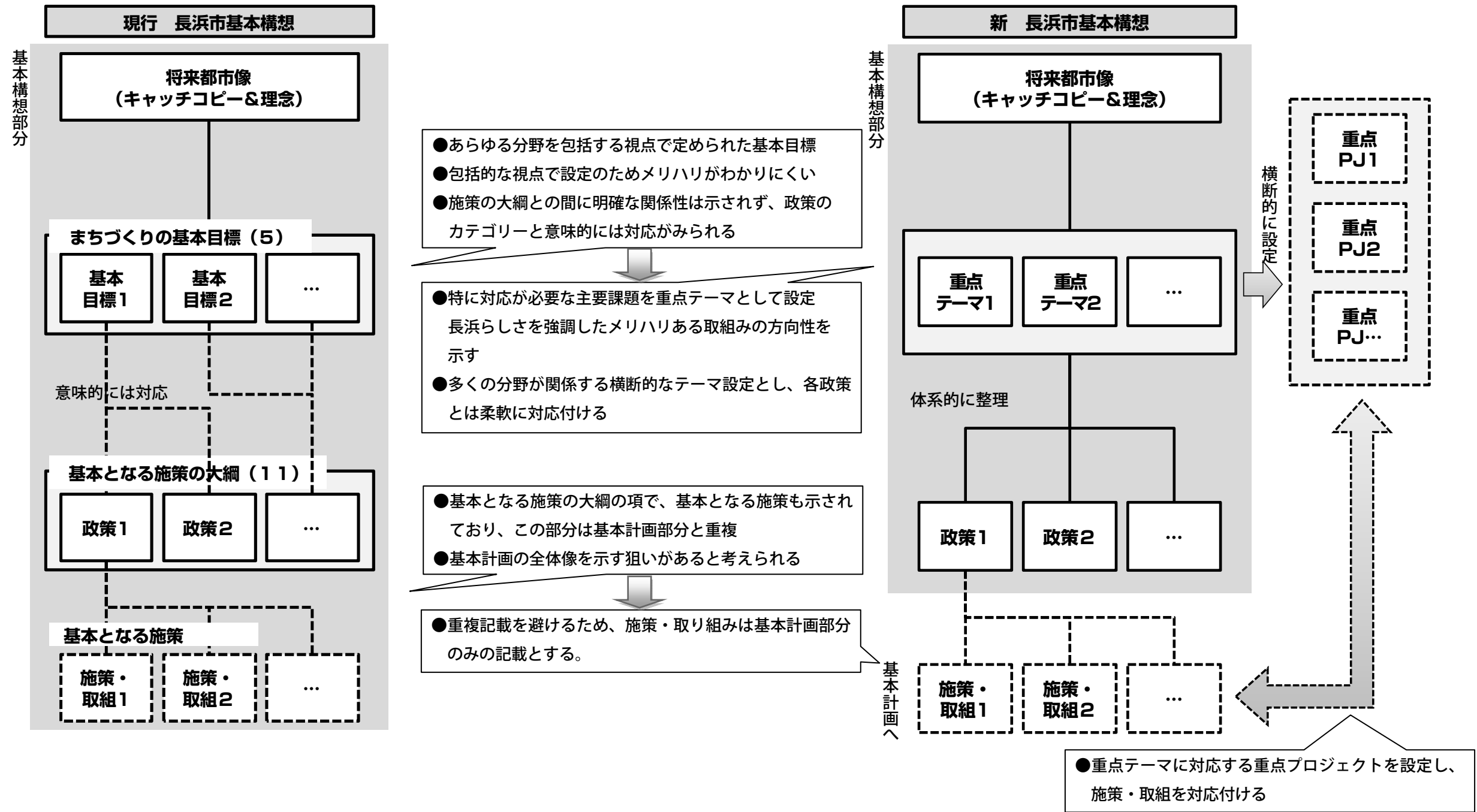


1. 基本構想の構成の変化

現行基本構想の特徴	新基本構想での変更点
○現行基本構想は、将来都市像ーまちづくりの基本目標ー基本となる施策の大綱ー基本となる施策、という構造で構成されています。 ○あらゆる分野を包括する視点で定められた基本目標は、網羅的ではありますが、一方で目標としてのメリハリは乏しくなっています。また、基本目標と施策の大綱とは、明確な対応付は示されていませんが、意味的な対応はあり、緩やかな対応を示唆しています。	○新基本構想では、基本となる構造に大きな変化は加えません。 ○基本目標に相当する部分として、今後、特に重点的に取り組んでいく『重点テーマ』を設定し、<u>長浜らしさを強調したメリハリのある取組み</u>を目指します。この『重点テーマ』と、体系的に整理する『政策』とを対応付けて、目標と対応する政策分野の関係性を明らかとします。 ○基本計画部分では、目標達成のための手段を明確に示すため、『重点テーマ』に対応する『重点プロジェクト』を設定するとともに、施策・取組を対応付けます。



2. 将来都市像と重点テーマの考え方

将来都市像の理念 (将来のまちの姿)	目指すまちの姿（①→②→③→④） ①現代のライフスタイルに合った、人と人とのゆるやかな結びつきの中で ②一人ひとり、みんなが長浜の未来、長浜で暮らす幸せを想いながら ③新たな価値や仕組みを作り出していくチャレンジ・挑戦ができ ④人が輝いているまち	
	実現した結果として A. 心豊かに満ち足りていて、楽しいと思えるまち	B. 長浜で暮らして良かった、良い人生だった、と振り返れるまち
将来都市像 キャッチコピー(案)	事務局案① Challenge & Creation ～新しい感性が息づく共創都市 ながはま～ ●字のごとく “チャレンジ” と “クリエイション”。 挑戦と創造。 ●少子高齢化や人口減少社会の到来、経済・雇用状況の低迷、大災害の発生や地球環境の変化、自治体財政の逼迫など、閉塞感漂う今日、国をあげて地方創生への取り組みがはじまっている。 ●そんな時代であるからこそ、次の時代を先読み（想像）し、戦略的な視点で果敢に新しいまちづくりに『挑戦』する。そして、新たな価値を『創造』し、魅力的なまちを創る。 ●何もしなければ何も変わらない。 10年後、あの時何もしなかったことを後悔したくない。。。。挑戦しよう。	事務局案② とことん長浜 ～あふれる愛 みんなで未来を創るまち～ ～みんなで創る みんなが好きになるまち～ ●とことん長浜のことを知ることで、とことん長浜の魅力に気づき とことん長浜のことを誇りに思い、とことん長浜のことを好きになる ●とことん長浜にこだわって、とことん長浜のことを良くしたいと思って活動する ●そして最後の最後には、長浜で暮らして良かった、良い人生だった、と振り返ることができる。 ●つまり、「とことん」をキーワードとして、市民・企業・団体・行政の心が一つとなることで、大きなまちづくりの輪が広がること、そんな願いを込めています。 (参考) “とことん”は、辞書によると ①最後の最後、②徹底的に、③満足するまで、④情熱をもって

留意点

- 将来都市像の設定に際しては、目指す将来のまちの姿を理念として整理し、そのうえで、わかりやすいキャッチコピーとして表現していくことが必要です。
- 複雑・冗長な表現は避け、全職員・全市民がその趣旨を容易に理解できることが重要です。
- 一人ひとりが我が事として受け入れながら、行動規範的なものとして日々の行動に活かせることが重要です。

留意点

- 重点テーマは、実践的・戦略的に取り組むまちづくりの目標であり、まちづくりの主要課題を踏まえ、重点プロジェクトとして政策的に実行できるような、また長浜らしさを強調した設定とする必要があります。

重点テーマの考え方	●人口減少・少子高齢化が進行し、市の活力減少・財政の逼迫が予想されるなかで、多様化・高度化するライフスタイルやニーズに対応した市政が重要となっています。 ●行政として取り組むべき方向性を明確にし、戦略的な視点により資源を集中的に投入することで、限られた資源を最大限に活用し、市の持続的発展を目指します。
-----------	--

重点テーマ① かがやく（教育の振興&子育て支援）	重点テーマ② みなぎる（地域活性&産業振興）	重点テーマ③ つながる（安心と安全&都市構造の適正化）
考え方 ●まちは、市民が暮らし活動する空間です。これまで「ひと」を原点到据えてまちづくりを進めてきましたが、さらに人口減少が進む今後においては、市民一人ひとりに期待される役割や力はますます大きくなっています。大きな可能性を持った若者、知識・経験が豊富な高齢者など、他をリードしていける人材が必要となっています。 ●一人ひとりがこれまで培った経験をこれからのまちづくりに活かし、まちが一丸となって未来を担う次世代を育てていきます。 ●郷土を愛し、柔軟な発想力と多様な価値観を持ちながら、次世代を想像・創造していけるような、人が“輝く”まちを目指します。	考え方 ●地域活性の基盤となるのは地域固有の産業や資産であり、地方都市が個性や特色を主張する時代のなかでこれまで以上に自立したまちづくりを進めるためには、資源や産業が独自の魅力や強みといった個性的な価値を獲得し、大きな吸引力を持った活性材料としていく必要があります。 ●創意と地域資源により魅力的な地域基盤の獲得に向けて取り組み、他から選ばれるまち・働きたいまち・住んでみたいまちを目指すことで、人口の定着・地域活力の向上を図ります。 ●地域に関わる様々な主体が連携・協力して資源や産業を磨きあげ、都市の魅力と競争力を高めることで、仕事があり活力が“みなぎる”まちを目指します。	考え方 ●少子高齢化、市街地の空洞化、過疎化、財政悪化など、まちを取り巻く状況が困難を極めるなかで、都市基盤の適正化を図りながらも、一人ひとりが豊かな心で、安心して暮らしていける持続可能な環境づくりが必要となっています。 ●複雑化するライフスタイルの中で、それぞれが無理なく結びつき、コミュニケーションを図りながら、長浜の風土・文化の中で自分らしく暮らしていくことができるよう取り組んでいきます。 ●予想される時代の変化に前もって対応し、暮らしのあり方・価値観を再構築しながら、一人ひとりが幸せを見つけて“つながる”まちを目指します。
取組みの方向性 1. 創造力豊かで生きる力をもった人材の育成 2. さらに一歩進んだグローバルな教育と多文化の共生 3. 郷土愛・アイデンティティの醸成 4. 子育てへの切れ目のない支援	取組みの方向性 1. 移住人口・定住人口・交流人口の拡大 2. 多彩な地域資源を再発見し磨き上げ、新たな価値を創造 3. 商業・観光産業の振興とインバウンド観光の推進 4. バイオ産業と新産業の創出による産業力の強化 5. 食と農を中心とした新しい魅力の創造	取組みの方向性 1. 誰もが健康で自分らしく、地域で共に暮らせる環境づくり 2. 快適な市民生活を支え、様々な交流を創出する空間の整備 3. 暮らしやすいまちの実現に向けた強み・魅力の増強 4. コンパクトシティ＋ネットワークの実現、都市部と周辺地域の共生

3. 基本構想の全体構造

